

警察庁によると、令和5年の特殊詐欺の認知件数は1万9033件と前年比で1463件増加、被害額も441億2000万円で前年比70億4000万円増加しました（暫定値）。被害は

大都市圏に集中しており、

東京、大阪、神奈川、愛知、埼玉、千葉及び兵庫の順となっています。

手口は、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、キヤッシュカード詐欺盗の順で多く、

## 特殊詐欺の発生状況

被害者の78・3%が65歳以上の高齢者（法人被害を除く）です。また、被害金交付形態別では現金手交型、キヤッシュカード窃取型は減少、一方、キヤッシュカード手交型、振込型、現金送付型及び電

子マネー型がそれぞれ増加して

います。被害の大半は犯人からの電話を受けることに端を発しているの  
で、知らない番号の電話には出ない  
ことが肝要  
です。

防犯一口メモ